

東京工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	TOEIC Seminar Ⅲ (選択外国語)
科目基礎情報				
科目番号	0172	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 2	
開設学科	電子工学科	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	『公式TOEIC Listening & Reading問題集3』 (一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会)			
担当教員	堀 智子,川又 加代子			

到達目標

1. 3年次までの学習を基礎として、4年次に学習したTOEIC旧形式の過去問題の演習を基礎とし、難易度の高い新形式の問題を「聞くこと」「読むこと」において認識、理解することを目指す。
2. 各自の進学やキャリア計画の達成に必要な英語力 (TOEIC) を考え、自己の学習をモニター、考察して今後の目標と学習計画を立てる。
3. 授業を通して自律的学習態度の育成、TOEIC新形式において4年次のスコアと同等または伸長を目指す。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安
評価項目1	Part 1、2の英語を聞いて、音声認知と意味認知ができる。写真の描写として正しい選択肢を選び、80%以上正解することができる。	Part 1、2の英語を聞いて、音声認知と意味認知がある程度できる。写真の描写として正しい選択肢を選び、70%以上正解することができる。	Part 1、2の英語を聞いて、音声認知と意味認知がある程度できる。写真の描写として正しい選択肢を選び、50%以上正解することができる。	Part 1、2の英語を聞いて、音声認知と意味認知ができない。写真の描写として正しい選択肢を選ぶことができない、又は選択肢を読み理解することができない。
評価項目2	Part 3、4の英語を聞いて、音声認知と意味認知ができる。問題を解いて70%以上正解することができる。解くことができる。	Part 3、4の英語を聞いて、音声認知と意味認知がある程度できる。対話の正しい選択肢を選び、60%以上正解することができる。	Part 3、4の英語を聞いて、音声認知と意味認知がある程度できる。対話の正しい選択肢を選び、40%以上正解することができる。	Part 3、4の英語を聞いて、音声認知と意味認知がほとんどできない。対話の正しい選択肢を選ぶことができない、又は選択肢を読み、理解することができない。
評価項目3	Part 5の英文を読んで、正解を選ぶためにポイントとなる文構造と文法の理解ができる。問題を解いて80%以上正解することができる。	Part 5の英文を読んで、正解を選ぶためにポイントとなる文構造と文法の理解がある程度できる。問題を解いて70%以上正解することができる。	Part 5の英文を読んで、正解を選ぶためにポイントとなる文構造と文法の理解がある程度できる。問題を解いて50%以上正解することができる。	Part 5の英文を読んで、正解を選ぶためにポイントとなる文構造と文法の理解ができない。又は選択肢を読み、理解することができない。
評価項目4	Part 6の英文を読んで大意を把握し、正解を選ぶためのポイントとなる文構造と文法の理解ができる。問題を解いて70%以上正解することができる。	Part 6の英文を読んで大意を把握しようとし、正解を選ぶためのポイントとなる文構造と文法の理解がある程度できる。問題を解いて60%以上正解することができる。	Part 6の英文を読んで大意を把握しようとし、正解を選ぶためのポイントとなる文構造と文法の理解がある程度できる。問題を解いて40%以上正解することができる。	Part 6の英文を理解できず、正解を選ぶためのポイントとなる文構造と文法の理解ができない。又は設問、選択肢を読み、理解することができない。
評価項目5	Part 7の複数の英文を読んで、設問の解答がある箇所を素早く探すことができる。問題を解いて70%以上正解することができる。	Part 7の複数の英文を読んで、設問の解答がある箇所を探すことができる。問題を解いて60%以上正解することができる。	Part 7の複数の英文を読んで、設問の解答がある箇所を探すことができる。問題を解いて40%以上正解することができる。	Part 7の簡単な英文を理解できない。又は設問、選択肢を読み、理解することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 B3
JABEE (f)

教育方法等

概要	1. 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文の理解、旧型式TOEIC既出問題の4年次の演習を基礎に、「聞くこと」「読むこと」において新形式問題の更に高度な英語表現への認識、理解を深める。
授業の進め方・方法	新形式問題の教科書の演習を中心に、新形式の試験の問題傾向と解答のポイントについて解説、学習する。読解スピードを上げるために、速読ソフトを利用して戻り読みをしない練習を取り入れる。また、前期では、英文和訳の演習問題を、後期ではリテンションを高めるための演習を適宜行う。各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的に行うことを期待する。
注意点	本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習等の自学自習実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身につけることが必要である。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業概説 新形式テキスト説明 前期は「テスト1」実施と解説 速読ソフトを使用した演習を適宜実施	新形式の変更点を把握する。 戻り読みをしないで読むことに慣れる。
		2週	テキスト Part 1～4 実施、採点、PF記入 速読ソフトでの速読訓練 (以下授業内で適宜行う)	新形式のリスニングテストを経験する。 戻り読みしない訓練をする。
		3週	テキスト Part 1、2 方略の復習、形式の説明、解説、語彙	Part 2の新形式問題を理解し、英語の音声と意味に注意を払い学習する。
		4週	前回の学習内容を確認する。(以下省略) テキスト Part 3 形式の説明、解説、語彙	Part 3の新形式問題を理解し、英語の音声と意味を認識する。
		5週	テキスト Part 5、6 方略、形式の説明、実施、解説、PF記入	Part 6の新形式問題を理解し、正答を導くための文構造、文法のポイントを把握する。新出語彙を学習して習得する。
		6週	中間テスト実施	これまでの学習の成果を発揮する。

後期	2ndQ	7週	テスト返却、解説 テキストPart 1, 2, 5, 6まとめ	Part 1, 2, 5, 6について、特に正解できなかった問題のポイントを理解する。	
		8週	テキスト Part 3 解説続き Part 5, 6 解説続き	Part 6 の問題形式を理解し、正答を導くための文構造、文法のポイントを把握する。新出語彙を学習して習得する。	
		9週	テキスト Part 3 解説続き Part 5, 6 解説続き	Part 6 の問題形式を理解し、正答を導くための文構造、文法のポイントを把握する。新出語彙を学習して習得する。	
		10週	テキスト Part 3 解説 語彙 Part 6 解説 語彙	Part 3, 6 の新問題形式を理解し、正答を導くための文構造、文法のポイントを把握する。新出語彙を学習して習得する。	
		11週	テキスト Part 7 解説 語彙 Part 4 解説 語彙	Part 4 の新問題形式を理解し、英語の音声と意味を認識する。Part 7 の問題形式を理解し、スキミングにより簡単な問題の解答を文中より素早く見つける。新出語彙を学習して習得する。	
		12週	テキスト Part 7 解説 語彙 Part 4 解説 語彙	Part 7, 4 の新問題形式を理解する。	
		13週	テキスト Part 7 解説 期末テスト範囲の復習	Part 7 の問題形式を理解し、解答を文中より素早く見つける。新出語彙を学習して習得する。	
		14週	期末テスト実施	期末テストの範囲の習得内容を把握し、各自未習得の内容を特定し学習する。	
	15週	テスト返却、解説	半期の授業内容を概観。自己の学習の進捗状況を理解し、夏季休暇の学習を計画する。		
	16週				
	後期	3rdQ	1週	前期の学習内容の概観 ソフト使用による速読演習 (以下授業で適宜実施)	夏季休暇中の学習について振り返り、達成できたこと、できなかったことを考える。速読のポイント、WPMを意識して読む。
			2週	前回の学習内容を確認する。(以下省略) テスト2、Part 1～4 実施、採点、PF記入	新形式問題を再度把握し、正答率をあげる。
			3週	テキスト Part 1, 2 解説、語彙	誤答の問題について原因、傾向を把握する。新出語彙を学習して習得する。
			4週	テキスト Part 3 解説、語彙	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。
			5週	テキスト Part 5, 6 実施、解説、PF記入	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。
			6週	テキスト Part 3 解説続き Part 5, 6 解説続き	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。
7週			新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。	これまでの学習の成果を発揮する。	
8週			テスト返却、解説 テキストPart 1, 2, 5, 6まとめ	Part 1, 2, 5, 6について、特に正解できなかった問題のポイントを理解する。	
4thQ		9週	テキスト Part 4 解説 語彙 Part 7 解説 語彙 リテンションを高める演習	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。 聴いた短い英文を再生する。	
		10週	テキスト Part 4 解説 語彙 Part 7 解説 語彙 リテンションを高める演習	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。 聴いた短い英文を再生する。	
		11週	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。 聴いた短い英文を再生する。	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。 聴いた短い英文を再生する。	
		12週	テキスト Part 4 解説 語彙 Part 7 解説 語彙 リテンションを高める演習	新形式問題を再度把握し、正答率を上げる。新出語彙を学習して習得する。 聴いた短い英文を再生する	
		13週	学年末テスト範囲の復習		
		14週	学年末テスト実施	期末テストの範囲の習得内容を把握し、各自未習得の内容を特定し学習する。	
		15週	テスト返却、解説	後期の授業内容を概観。自己の学習をメタレベルで振り返り、今後の学習を計画する。	
		16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	

			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他 (PF含む)	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0